

事務事業評価シート

(H.30)No.	4350	(H.29)No.	4350
-----------	------	-----------	------

事務事業名	庁舎設備改修事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
総務部	契約管財室	羽後 和秀	

会計区分	事業コード	021901
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	庁舎設備改修事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 財産管理費	庁舎設備改修事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	未来につなぐ自立と協働による市政経営
	基本施策	2	自主自立の市政経営
	施策	2	成熟社会に対応する行政運営
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
市庁舎の設備機器において、耐用年数が経過しているものや、今後更新を迎える機器の取替を計画的に行うことにより、安定・安心した施設管理を行うとともに、予防保全を施すことによる施設の負担軽減・延命化を図る。
・設備機器の状況等について、毎年点検を行い緊急度・重要度の高いものから計画的に改修を行うことで、事業費の平準化を図る。 ・改修においては、予防保全による施設への負担軽減・延命化を図るだけでなく、省エネルギーのものやランニングコストの低いものを採択するほか、機能や市民の方の利便性の向上についても検証する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎エレベーター改修中央エレベーター2台 自家発始動用蓄電池更新 	<ul style="list-style-type: none"> 議会棟エレベーター改修1台 非常用照明及び受変電操作電源用蓄電池更新 防火シャッター改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> 議会音響設備改修

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		34,334千円		50,000千円	35,610千円	65,800千円	25,360千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債		34,334		50,000	35,610	65,800	25,360
その他()							
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人工数							
職員		0.58人		0.58人	0.58人	0.58人	0.58人
臨時職員等		0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	4,292千円	0千円	4,292千円	4,292千円	4,292千円	4,292千円
①+②総事業費	0千円	38,626千円	0千円	54,292千円	39,902千円	70,092千円	29,652千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
平成29年度は、部品の供給が停止となった庁舎エレベーターの改修工事の実施と、更新時期を大幅に超過していた庁舎自家発始動用蓄電池の更新を行った。庁舎建設から約30年が経過し、耐用年数が経過している設備も多く見受けられ、これまでは不具合が生じた際に対応する事後保全を行ってきたが、主要設備においては、業務、市民の方への影響が大きくなることから、緊急度・重要度の高い設備を予防保全による計画的に改修を行うことが必要である。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(改善)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
・設備点検結果等を踏まえ、重要度・緊急度の高い設備から計画的に改修を行う。 ・改修後のランニングコストのほか、改修費用を削減するための手法を検討し、費用の削減を図る。今後、更に年数が経過し、一斉に更新時期を迎えることや、老朽化により、緊急的な措置が必要な箇所も併せて生じてくることも考えられることから、計画的な整備、更新が重要となる。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
公共施設総合管理計画